

山梨県文学館協議会資料

平成29年10月26日(木)

山梨県立文学館

目次	ページ
<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県文学館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	6
<u>施設利用状況</u>	7
<u>観覧者数の推移</u>	8
<u>平成28, 29年度展覧会の状況</u>	10
<u>教育普及事業について</u>	12
<u>資料情報課事業一覧</u>	21
<u>指定管理者活動報告</u>	24
<u>国道52号線拡幅工事について</u>	28

山梨県文学館協議会委員名簿

任期：平成29年9月29日～平成31年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野（勤務先等）
委嘱	津久井 豊徳	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 （南アルプス市教育委員会教育委員、連合会会長）
"	渡辺 春美	県社会教育団体代表	社会教育関係 （山梨県社会教育委員、山梨県連合婦人会 副会長）
"	石川 芳子	山梨文芸協会事務局長	学識経験者（山梨文芸協会事務局次長）
"	杉原 克彦	報道関係	学識経験者（山梨日日新聞社 論説委員）
"	水石 和仁	報道関係	学識経験者（テレビ山梨 放送本部・報道制作局長）
"	田中 昌央	報道関係	学識経験者（NHK甲府放送局副局長）
"	長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験者
"	古川 裕佳	都留文科大学教授	学識経験者
"	廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
"	出澤 忠利	印傳博物館 運営委員	学識経験者
"	澤谷 滋子	浅川伯教・巧兄弟資料館館長	学識経験者
"	赤井 美知江	公募委員	家庭教育関係者
"	高橋 恵美子	公募委員	家庭教育関係者
任命	清水 千春	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 （中央市立田富中学校長）
"	小俣 岳	県高等学校長協会代表	学校教育関係 （都留高等学校長）

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。(会長等)

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

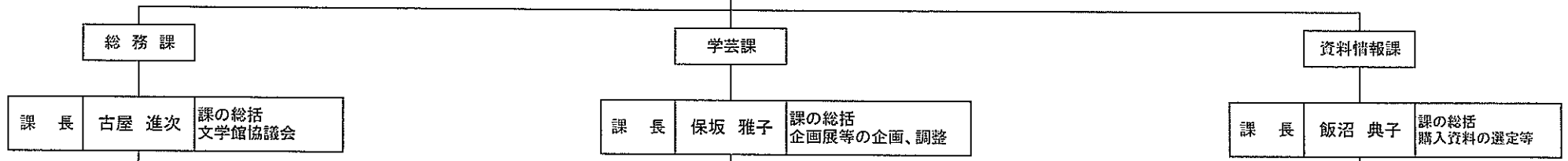
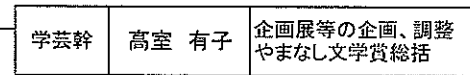
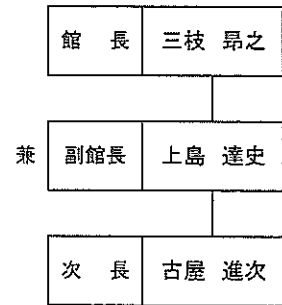
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

文学館組織図

平成28年10月1日現在

所属名	県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	合計
10	7	1	18
(兼3)	(兼1)		(兼4)

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	中野 和子	担当の総括 企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
学芸員	伊藤 夏穂	企画展・常設展の実施 特殊資料の整理公開
非常勤 嘱託	酒井 研一	ボランティア育成・指導等
非常勤 嘱託	佐藤 明子	特殊資料の整理公開

教育普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹・ 教育主事	石田 史明	担当の総括 学校教育・生涯学習機 関との連携
主幹・ 教育主事	笠井 里香	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座
主任・ 教育主事	保坂 敦	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学講座

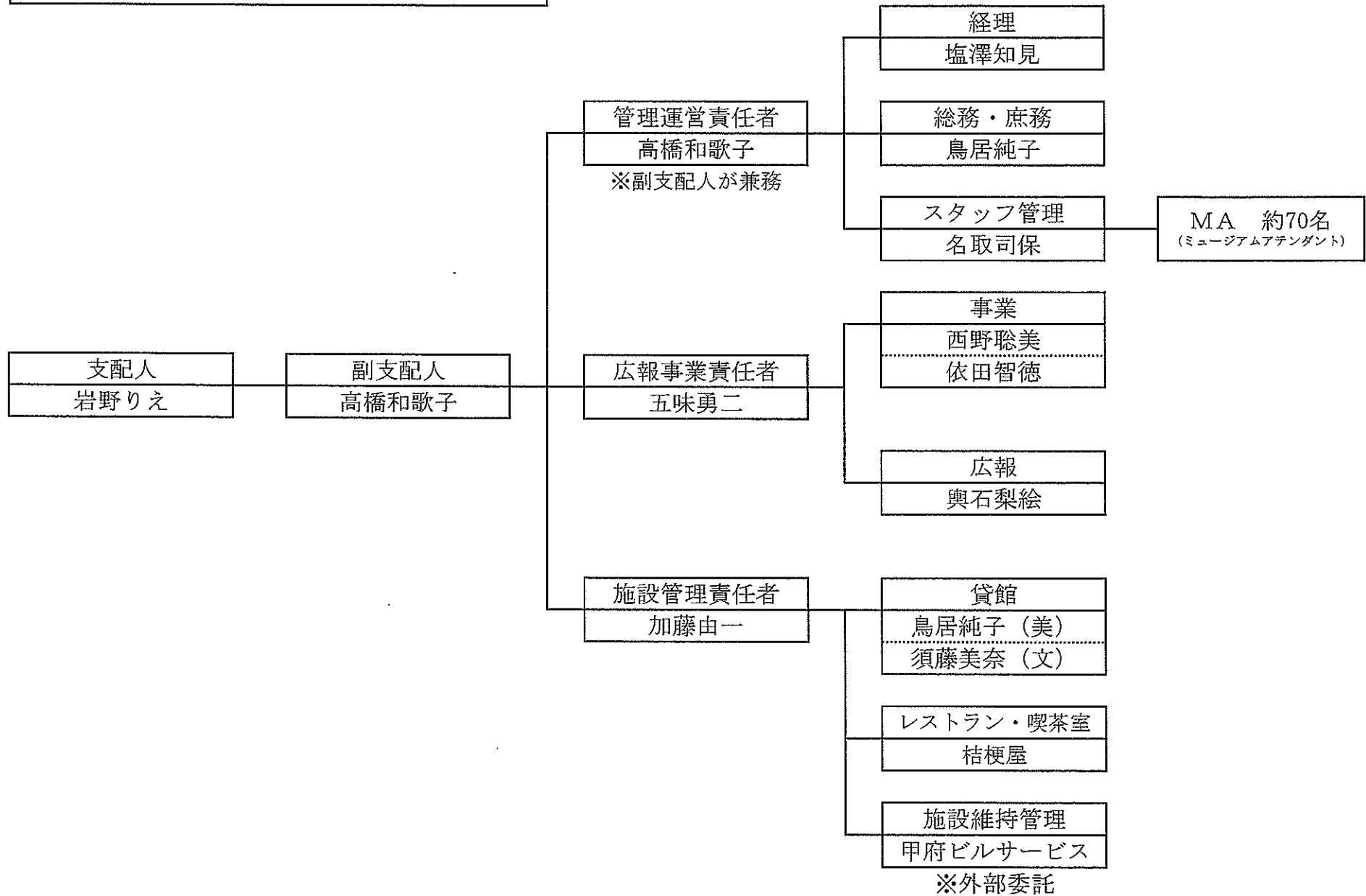
文学館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	千国 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
兼リーダー 主幹	望月 博史	担当の総括 予算管理
兼主任	高山 慎之介	会計・総理 旅費・福利
兼非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹	水上 百合子	担当の総括 図書、逐次刊行物の評 価・公開 図書、視聴資料デー タ作成管理
非常勤 嘱託	土屋 育正	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	矢崎 理江	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	瀧田 夏希	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
臨時 職員	白倉 美紀子	逐次刊行物のデー タ 作成管理 文書検索システム



本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがい求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

- 平成29年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく制定された「基本理念」（平成25年4月1日制定）の具体的な実践として、資料収集・整理・保存・公開事業、常設展・企画展などの展示事業、これに併せた様々な教育普及事業、さらに文学の魅力伝えるための事業を実施した。

平成28年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

（常設展）年4回春夏秋冬展示替えに加え、期間限定公開コーナーを開設。

春：芥川賞作家 李良枝 夏：与謝野晶子 秋：武田泰淳と富士 冬：詩人 米澤順子

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・榎一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

（春の特設展）「辻嵐外 甲州の近世俳人」4月～6月

（夏の特設展）「宮沢賢治 保阪嘉内への手紙」7月～8月

（秋の企画展）「北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです」9～11月

（新収蔵品展）「直筆に見る作家のリアル」1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・初心者/中級者短歌教室・ワークショップ・特設展、企画展（秋）の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学、展示解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）、

（第25回やまなし文学賞）小説・研究評論2部門で実施 H29年3月12日表彰式

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝やまなしの文芸同人誌ー私の表現世界・宮沢賢治童話の世界・

マンボウ先生の作品たちー北杜夫の世界ー 芥川賞、直木賞の小説を味わう

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

木々高太郎・新田次郎・村岡花子・辻邦生・石原八束・榎一雄・李良枝

○書庫見学 6/11（土） 11/20（金・県民の日） 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

（共催事業）第22回与謝野晶子短歌文学賞（産経新聞社主催・山梨県教育委員会共催・山梨県他後援）

7月23日～24日、表彰式・関連事業を文学館で開催

第2回碑前際 飯田蛇笏・飯田龍太文学碑を巡り、講話と句会（山蔵文化振興会と共催）

平成29年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

（常設展）年4回春夏秋冬展示替えに加え、夏秋は「漱石生誕150年記念」企画を開催。

春：推理小説の開拓者 木々高太郎 生誕120年

夏前期：漱石とJ.R.ミレー、夏後期：漱石と樋口五葉（山梨県立美術館出品協力）

秋前期：漱石一手紙の達人、秋後期：漱石と芥川龍之介

冬：小林富司夫 生誕100年

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・榎一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

（春の特設展）「歿後50年 山本周五郎展」4月～6月

（夏の特設展）「作家のデビュー展」7月～8月

（秋の企画展）「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」9～11月

（新収蔵品展）1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・初心者/中級者短歌教室・ワークショップ・特設展、企画展（秋）の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学、展示解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）、

（第26回やまなし文学賞）小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H30年3月初め発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝山本周五郎を読む・山梨に生まれた作家たち・津島佑子の世界・近代文学の挿絵画家たち

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

土橋治重・太宰治・飯田龍太・田中冬二・深沢七郎・李良枝

○書庫見学 6/10（土） 11/20（日・県民の日） 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

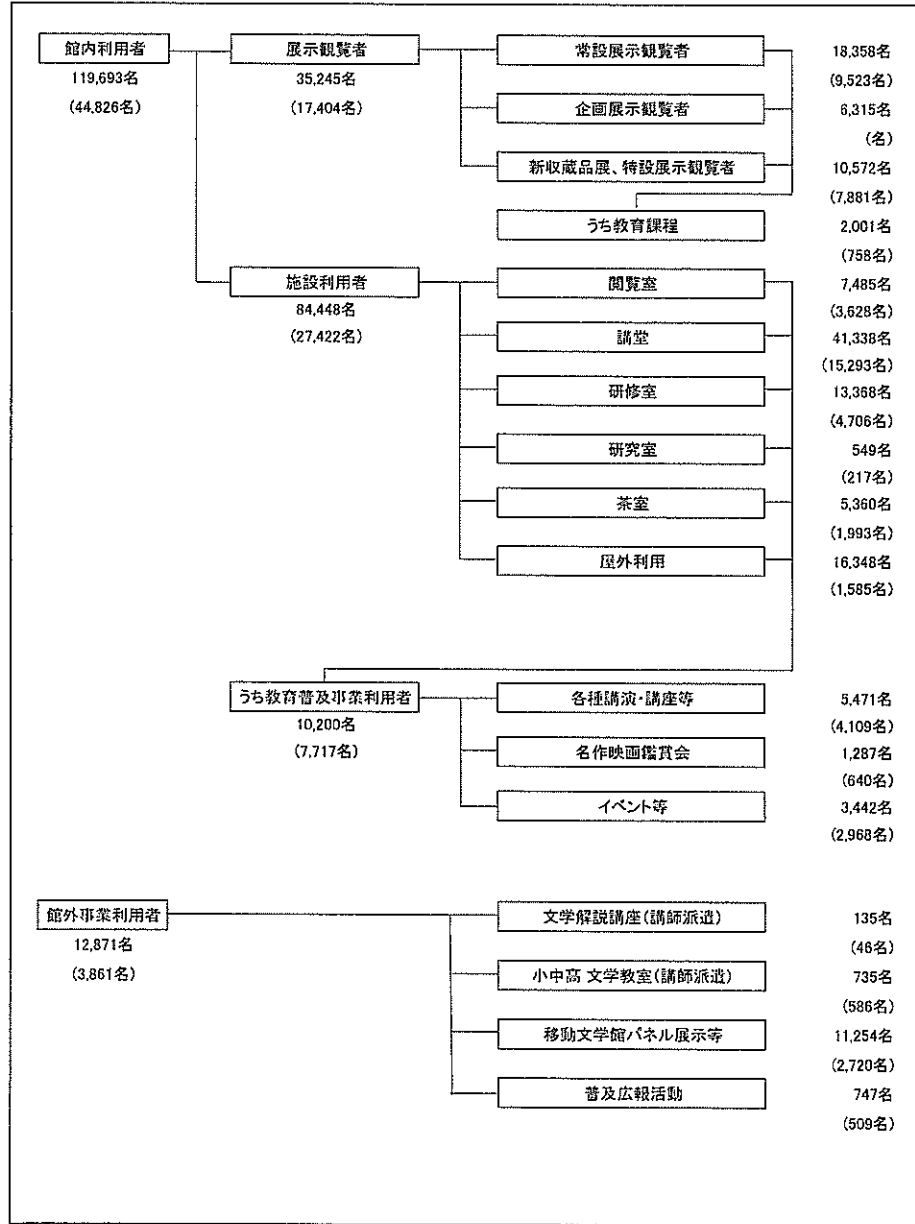
芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

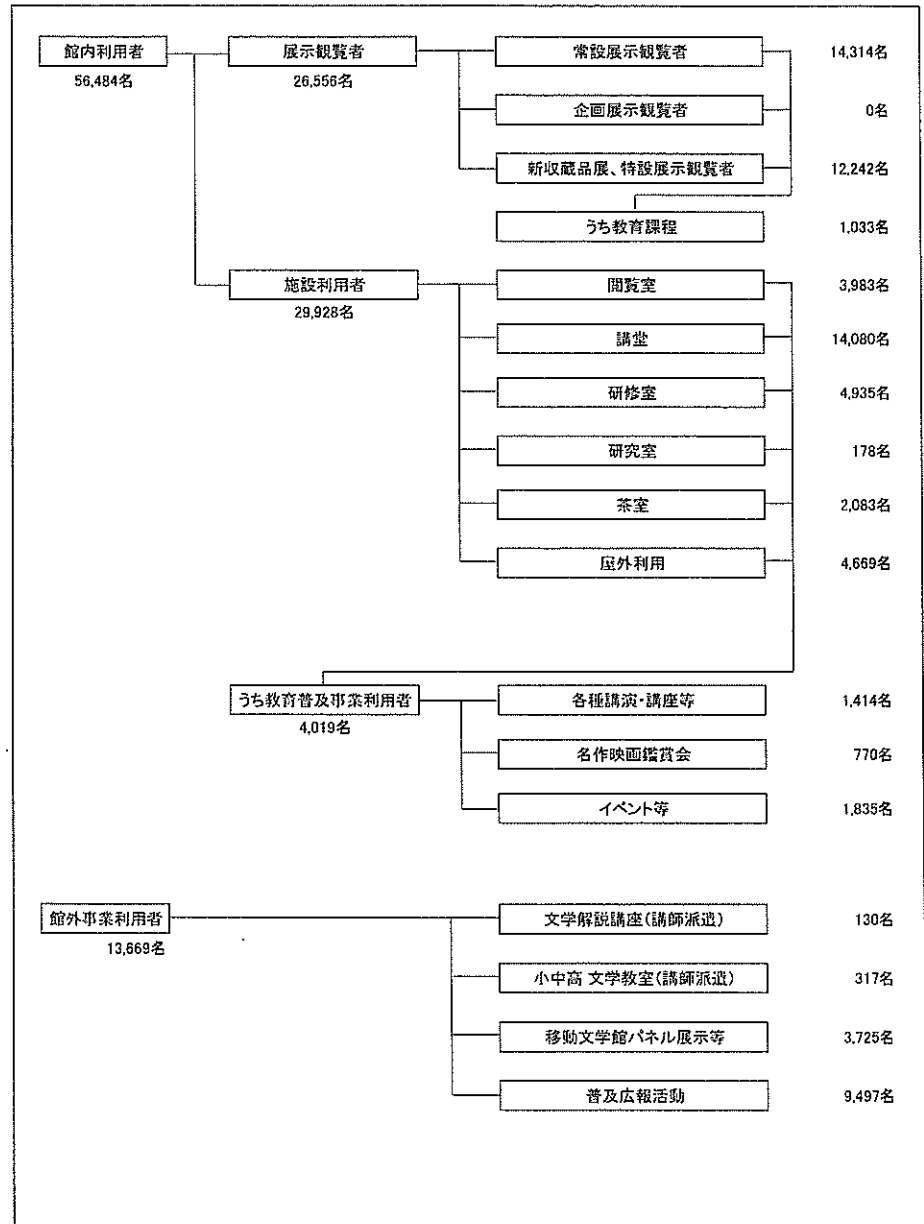
（共催事業）第3回碑前際 飯田蛇笏・飯田龍太文学碑を巡り、講話と句会（山蔵文化振興会と共催）

文学館における「利用者」の状況

平成28年度実績。()内は8月末現在



平成29年8月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,353	6,315	24,668
29	134	14,314		14,314
計	8,218	789,187	391,958	1,181,145

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,089	42
5	27	2,563	95
6	26	1,628	63
7	26	4,132	159
8	29	4,902	169
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	134	14,314	107

平成28年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,038	40
5	27	1,719	64
6	26	984	38
7	28	2,264	81
8	28	3,527	126
9	26	1,429	55
10	26	1,787	69
11	26	2,218	85
12	22	598	27
1	20	627	31
2	24	906	38
3	27	1,261	47
計	306	18,358	60

8月まで	135	9,532	71
------	-----	-------	----

前年同期比 150.2%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,489,730名

特設展観覧者数 237,884

新収蔵品展観覧者数 70,701

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田暁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と檀一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからテックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北柱夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	62		
	計	2,854	391,958	137

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	「豹・レオパール」の詩人たち -宮田樞夫資料より-	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 -西島夏南・松村蒼石・榎本虎山-」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	56	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学-山梨ゆかりの作家群-」	50	3,778	76
10	「鳴山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名著展 -百瀬舜太郎コレクションより-	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 -「赤い鳥」「金の船/金の星」「童話」を中心に-	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで-」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアラギ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Gアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	101
21	収蔵名品展 (常設展観覧料で見せた)	44	3,007	68
22	くじらぐもからテックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダースの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展 (国文祭関連で常設展観覧料で見せた)	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展 (特別コーナー-村岡花子と柳原白蓮)	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻 嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
29	戦後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	作家のデビュー展	44	8,322	189
	計	2,039	237,884	117

平成28年度 企画展・特設展など(実績)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 辻嵐外 甲州の近世俳人	平成28年 4月29日(金) ～ 6月19日(日)	46日間	2,514人	辻嵐外(1770～1845)は、江戸時代後期、文化・文政期を中心に活躍した俳人である。生まれは越前の国(現在の福井県)敦賀で、青年時に甲州の俳人、五味可都里を頼って移り住み、以後、住まいを何力所か移しながら、歿年まで甲斐で過ごした。別号に「六庵」「南無庵」「北亭」などがある。後に「嵐外十哲」と呼ばれる人々をはじめとする多くの門弟を育て、後世に続く甲州俳壇に大きな影響を与えた。酒を愛した洒脱の人として知られ、俳諧だけでなく、俳味に溢れた絵をよく描いた。それらの書画は、今も多く愛好者がいる。 本展では文学館がこれまで収集した資料と共に、県内所蔵者の協力を仰いで多彩な資料を集める。現代の目からみても親しみと共感を呼ぶ作品と書画の魅力を紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	平成28年 7月9日(土) ～ 8月28日(日)	47日間	5,367人	近代詩と児童文学に独自の世界を切り開き、現代も多くの愛読者をもつ宮沢賢治(1896～1933)が、山梨県北巨摩郡駒井村(現 韮崎市)出身の友人、保阪嘉内(1896～1937)に宛てた73通の手紙が、平成27年、当館に寄託された。嘉内は、甲府中学校を卒業後、岩手県の盛岡高等農林学校に入學し、賢治と知り合い親友となった。賢治から嘉内へ送られた書簡は在学中から始まり、嘉内の帰郷後も続き、理想や苦悩、深い友情が綴られている。嘉内の次男保阪庸夫氏により1968(昭和43)年、『宮沢賢治 友への手紙』として活字化、刊行されてより、多くの研究者の注目を集めてきた。当館では平成19年、企画展「宮沢賢治 若き日の手紙」で公開している。 本展は寄託後初の展覧会として、改めて全73通を公開し、賢治と嘉内の友情に迫りました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 北杜夫展 ユーモアがあるのは人間だけです	平成28年 9月17日(土) ～ 11月23日 (水・祝日)	59日間	6,315人	北杜夫(1927～2011)は、齋藤茂吉の次男として生まれ、旧制松本高校、東北大学医学部を卒業。精神科医を務めながら、同人誌「文藝首都」を拠点に「幽霊」等の小説を発表した。1960(昭和35)年「夜と霧の隅で」で芥川賞を受賞。続いて、1964年に齋藤家三代をモデルに執筆された長篇小説『楡家の人びと』を刊行し、高い評価を得た。一方で、1960年の『どくどるマンボウ航海記』をはじめとする「どくどるマンボウ」シリーズや「さびしい王様」に代表されるユーモア作品を数多く執筆して人気を博す。 本展では、20代から30代にかけて同人誌に発表した作品も取り上げ、小説家としての軌跡を辿ると同時に、若き日の作歌や未発表の短歌も取り上げ、歌人としての側面にも光を当てる。さらに、家族や友人を巻き込み創設した「マブゼ共和国」や、熱狂的な阪神タイガースファンとしての一面など、バラエティに富んだ資料により人間的な魅力もとりあげました。 「幽霊」「木精」「楡家の人びと」「どくどるマンボウ航海記」ほか原稿、北杜夫の日記、辻邦生宛北杜夫書簡、北杜夫宛三島由紀夫・武田泰淳・遠藤周作書簡、齋藤茂吉の手帳、北杜夫水彩画など、約150点の資料により生涯と文学を紹介しました。	自主企画
4	新収蔵品展 直筆に見る作家のリアル 飯田蛇笏・芥川龍之介・井伏鱒二・草野心平・太宰治ほか	平成29年 1月21日(土) ～ 3月20日(月・祝日)	51日間	2,691人	平成28年度に新たに収蔵した芥川龍之介、山本周五郎などの資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介しました。	自主企画 ・観覧料無料で公開

平成29年度 企画展・特設展など(実績および予定)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 歿後50年 山本周五郎展	平成29年 4月29日(土) ～ 6月18日(日)	45日間	3,920人	2017(平成29)年は大月市出身の小説家・山本周五郎歿後50年にあたります。「赤ひげ診療譚」などの江戸庶民の人情ものや、「縦ノ木は残った」など歴史長編を発表して人気を博し、映画化された作品も数多くあります。現在も多くの読者の支持を得ている数少ない作家の一人です。当館で収集した資料を中心に、山本周五郎の生涯と作品を紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 作家のデビュー展	平成29年 7月15日(土) ～ 8月27日(日)	40日間	8,322人	半井桃水創刊の雑誌に発表された樋口一葉の「閨桜」、発表当時の反響は小さかったものの現在ではほとんどの教科書に掲載されている芥川龍之介の「羅生門」、当時の作家が大きな衝撃を受け前代未聞の出版記念会が行われた深沢七郎の「檜山節考」など、山梨ゆかりの作家のデビュー作やエピソードを館蔵資料により紹介。さらに、現在活躍中の辻村深月(笛吹市)、神永学(南巨摩郡富士川町)などのデビューの頃もとりあげました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 津島佑子展 いのちの声をさかのぼる	平成28年 9月23日(土・祝) ～ 11月23日 (木・祝日)	53日間	— 人	2016年2月18日に逝去した作家・津島佑子の初の展覧会。作家・太宰治の次女として1947年に生まれ、大学在学中より小説を発表。結婚、出産、離婚、息子の死、母子家庭や障害を持ち夭折した兄のことなど、自身の体験をもとに女性の立場から内面世界に迫る作品を創出しました。「火の山 — 山猿記」では、母・美知子の実家・石原家をモデルに、甲州を舞台とする三代にわたる一族の人々と時代を壮大なスケールで描き、1998年に谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞しました。その後も、少数民族や原発問題へと視野を広げ、重厚な作品世界を展開、多数の作品が海外で翻訳されています。	自主企画
4	新収蔵品展	平成29年 1月20日(土) ～ 3月21日(水・祝)	52日間	— 人	平成29年に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。	自主企画 ・観覧料無料で公開

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展 「北杜夫展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月1日	講演会「どくとるマンボウ家のでんやわんや」	齋藤由香（エッセイスト・北杜夫長女）	380
10月30日	講演会「北杜夫とどくとるマンボウ、二人で一人」	石原千秋（早稲田大学教授）	162
11月3日	トーク「北杜夫は3人いました—喜美子夫人が語る波乱の50年」	齋藤喜美子（北杜夫夫人） 聞き手 三枝昂之（当館館長）	416
9月25日	「これは必見！展示資料から」	保坂雅子（当館学芸課長）	95
9月25日	ギャラリートーク	保坂雅子（当館学芸課長）	31
合計			1,084

(2) 特設展

特設展「辻嵐外 甲州の近世俳人」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
5月14日	「辻嵐外の句と画の魅力」	高室有子	85
5月14日	ギャラリートーク		45
合計			130

特設展「宮沢賢治 保坂嘉内への手紙」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
7月10日	渡辺えり講演会「宮沢賢治と保坂嘉内」	渡辺えり	447
8月28日	移動プラネタリウムによる「賢治と嘉内～二人の青春」	高橋真理子	47
合計			494

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
長谷川千秋 (山梨大学)	年間文学講座1（全8回）講堂 「甲州地誌『裏見寒話』— 甲州の伝説をよむ」 土曜日 14:00～90分	5月21日	153
		6月18日	150
		7月2日	157
		8月27日	118
		9月17日	118
		10月22日	118
		11月12日	97
		12月17日	102
小計			1,013
牛山 恵（都 留文科大 学名誉 教授）	年間文学講座2（全8回）講堂 「宮沢賢治の世界」 木曜日 14:00～90分	5月12日	177
		6月9日	168
		7月7日	153
		8月18日	147
		9月15日	149
		10月13日	142
		11月10日	146
		12月8日	163
小計			1,245
中野和子 伊藤夏穂 梶原宣仁	年間文学講座3「山梨の文学」	8月4日	87
		10月27日	29
		12月15日	23
小計			139
合計			2,397

(2) 与謝野晶子短歌文学賞 やまなし文学賞

月 日	演題	講 師	参加人数
7月23日	特別鼎談、表彰式・選評会、歌会		340
3月12日	表彰式、朗読、音楽会		110
合計			450

(3) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
7月13日	特設展 先生のための学習会①	中野学芸員	10
7月26日	特設展 先生のための学習会②	中野学芸員	15
10月26日	企画展 先生のための学習会	保坂学芸課長	13
合計			38

(4) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	1,988
文学の柱	254
企画展チャレンジクイズ	1,021
特設展チャレンジクイズ	1,106

(5) 名作映画観賞会

月 日	題 名	情 報	参加人数
5月15日	居酒屋兆治	1983年 原作 山口瞳 監督 降旗康男 出演 高倉健 大原麗子	195
6月19日	真昼の暗黒	1956年 原作 正木ひろし 監督 今井正 出演 草薙幸二郎 左幸子	180
7月30日	アニメ「銀河鉄道の夜」	1985年 原作 宮沢賢治 原案 ますむらひろし	215
8月6日	アニメ「鉄腕アトム 緑の猫」	2003年 原作 手塚治虫	50
9月18日	残菊物語	1956年 原作 村松梢風 監督 島耕二 出演 長谷川一夫 淡路千景	185
10月16日	道～白磁の人	2012年 原作 江宮隆之 監督 高橋伴明 出演 吉沢悠 ペ・スピン	192
11月20日	彼岸花	1958年 原作 里見 弴 監督 小津安二郎 出演 左分利信 田中絹代	270
合計			1,287

(6) 朗読講演会

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
7月16日	物語る演劇 山崎方代	劇団黒テント	247
合計			247

(7) 文学創作教室

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月7日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	26
5月28日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	25
6月25日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	22
5月29日	一般創作教室 成島出「映画と文学」		191
5月29日	高校生創作教室 成島出「映画と文学」		37
9月8日	三枝昂之短歌講座	三枝昂之	61
11月26日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	42
合計			404

(8) ワークショップ

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月22日	つまみ細工	飯島薫	30
7月18日	夏休み自由研究プロジェクト		412
7月27日	大人も楽しい伝統芸能	佐久間二郎	61
7月31日	ペーパーキリングで写真立てを作る	佐々木綾子	27
8月7日	飛び出す絵本	松下寛子	35
1月8日	新春ワークショップ百人一首教室	清水章子	54
合計			619

(9) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
7月26日	甲府城西高校		2
7月27日	甲府城西高校 山梨高校		4
7月28日	甲府城西高校 山梨高校		4
合計			10

(10) 学芸員実習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
7月12日	京都女子大学		1
合計			1

(15) 小・中・高等学校移動文学館（アウトリーチ）

月日	利用学校名	セット	対象人数
6月6日	御坂西小学校	B	569
6月10日	浅川中学校	B	403
6月21日	蘇沢中学校	A	98
6月23日	竜王西小学校	C	360
6月28日	増穂中学校	A	346
7月12日	石和東小学校	B	230
7月12日	石和東小学校	B	711
7月26日	大国小学校打ち合わせ		3
9月6日	境川小学校	B	239
9月14日	田富中学校	C	519
9月28日	甲府東小学校	D	400
9月29日	身延中学校	B	232
10月4日	中央高校	C	691
10月12日	甲府北東中学校	D	320
10月18日	下部小学校	D	60
10月19日	島田小学校	C	46
10月19日	都留高校	B	791
10月26日	増穂南小学校	D	39
10月26日	大国小学校	D	549
11月16日	西島小学校	D	78
11月18日	富士見小学校	B	353
11月22日	奥野田小学校	D	154
12月1日	中央高校	D	691
12月6日	泉小学校	D	276
12月14日	早川北小学校	B	25
1月6日	田富中学校	D	519
1月25日	富竹中学校	C	301
1月26日	真川小学校	D	409
1月31日	八代小学校	D	472
2月10日	甲府東小学校	D	400
2月14日	増穂小学校	D	641
2月22日	一宮西小学校	D	329
3月7日	早川南小学校	D	31
合計			11,285

利用教材A:石川啄木セットB:龍太・蛇笏のちまちな人形セットC:花子とアンD:宮沢賢治

(16) 外部共催研修

月日	企画名	対象者	利用人数
7月27日	総合教育センターとの共催研修		27
11月18日	総合教育センター 初任者研修会		32
合計			59

(17) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
6月3日	北巨摩支部校長会	学校長	27
6月6日	笛吹支部校長会	学校長	22
6月6日	高校国語部会	高校教員	45
6月7日	南都留支部校長会	学校長	50
6月7日	中巨摩支部校長会	学校長	52
6月14日	東山支部校長会	学校長	30
6月28日	北都留支部校長会	学校長	21
6月28日	峡南支部校長会	学校長	35
7月2日	山梨大学 文化施設実地研修	大学生	16
7月6日	高校校長会	学校長	80
8月5日	中巨摩地区国語サークル研修	教職員	20
8月10日	峡南支部学校図書研究会	教職員	26
8月17日	笛吹地区教員研修	教職員	24
8月18日	真川地区教員研修	教職員	61
9月21日	山梨英和大学 司書課程研修	大学生	24
2月2日	中巨摩支部学校図書研修会	教職員	70
合計			603

(18) 協力会読書会

月日	作品	対象者	利用人数
5月8日	宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」		8
6月12日	太宰治著「お伽草紙」		8
8月6日	野坂昭如著「アメリカひじき・火垂るの墓」		7
9月11日	やまなし文学賞受賞山本淳子著「彩りの郷にて」		8
10月2日	北杜夫著「どくとるマンボウ航海記」		5
11月13日	角田光代著「対岸の彼女」		10
12月11日	五木寛之著「風の王国」		7
1月22日	林真理子著「女文士」		5
2月12日	藤沢周平著「時雨のあと」		7
3月5日	茶川賞受賞作		7
合計			72

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定され
 選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一夫・長野まゆみ
 研究・評論部門：中島國彦・関川夏央・兵藤裕己

部門	応募人数
小説部門応募者数	300
研究・評論部門応募者数	118
合計	418

28年 11月30日 作品締め切り
 29年 2月13日、16日 選考会
 3月12日 表彰式
 6月 小説部門受賞作単行本刊行

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展 「津島佑子展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月14日	講演会「津島文学の魅力」	坂上弘（作家・日本近代文学館理事長）	
11月5日	講演会「ふたつの世界の接するところ」	堀江敏幸（作家・早稲田大学教授）	
11月12日	朗読と対談「津島佑子「火の山-山猿記の世界」	朗読 竹下景子（俳優） 対談 川村湊（文芸評論家） 石原燃（劇作家・津島佑子長女）	
10月1日	「津島佑子作品の場所をめぐる」	中野和子（当館学芸員）	
合計			0

(2) 特設展

特設展「歿後五十年 山本周五郎展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
5月21日	「書簡に見る周五郎の心情」	保坂雅子（当館学芸課長）	86
合計			86

特設展「作家のデビュー展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
7月30日	辻村深月講演会「フィクションの向こう側」	辻村深月（小説家）	380
8月3日	「太宰治 デビューの頃」	伊藤夏穂（当館学芸員）	78
合計			458

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
長谷川千秋 （山梨大学教授）	年間文学講座1（全8回）講堂 「甲州地誌『裏見寒話』— 甲州の伝説をよむ」 土曜日 14:00～90分	5月27日	130
		6月24日	116
		7月15日	104
		8月12日	87
		9月16日	
		10月21日	
		11月25日	
		12月16日	
小計			437
牛山 恵（都留文科大学名誉教授）	年間文学講座2（全8回）講堂 「教科書にのった児童文学と その作家たち」 木曜日 14:00～90分	5月11日	130
		6月8日	147
		7月13日	107
		8月10日	100
		9月21日	
		10月12日	
		11月16日	
		12月7日	
小計			484
保坂雅子 伊藤夏穂 笠井里香 高室有子	年間文学講座3「山梨の文学」	5月21日	86
		8月3日	78
		9月7日	
		1月25日	
小計			164
合計			1,085

(2) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
7月27日	特設展 先生のための学習会①		11
	企画展 先生のための学習会②		
合計			11

(3) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	1,950
文学の柱	136
企画展チャレンジクイズ	
特設展チャレンジクイズ	6,988
合計	9,074

(4) 名作映画観賞会

月日	題名	情報	参加人数
5月14日	椿三十郎	1962年 原作 山本周五郎 監督 黒澤明 出演 三船敏郎 仲代達矢	240
6月10日	青葉城の鬼	1962年 原作 山本周五郎 監督 三隅研次 出演 長谷川一夫 高田美和	324
7月29日	アニメ「チリンの鈴」	1978年 原作 やなせたかし 監督 波多正美	80
8月6日	アニメ「火垂るの墓」	1988年 原作 野坂昭如 監督 高畑勲	126
9月18日	太陽の季節	1956年 原作 石原慎太郎 監督 古川卓巳 出演 石原裕次郎 南田洋子	
11月20日	伊豆の踊子	1963年 原作 川端康成 監督 西河克己 出演 吉永小百合 高橋英樹	
合計			770

(5) 朗読講演会

月日	事業名 演題	講師	参加人数
10月28日	太宰と美英子～耳で聴く昭和文学～	華のん企画	
合計			0

(6) 文学創作教室

月日	事業名 演題	講師	参加人数
5月13日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
6月3日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
6月17日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
7月9日	一般創作教室 「長野まゆみ講演会」	長野 まゆみ	112
7月9日	高校生創作教室 「長野まゆみ講演会」	長野 まゆみ	30
	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之	
	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹	
合計			205

(7) ワークショップ

月日	事業名 演題	講師	参加人数
6月4日	ペーパークイリングで風鈴を飾ろう	佐々木 綾子	21
7月2日	デコパージュで「赤毛のアン」を身近に	小林 睦美	28
7月25日	大人も楽しい伝統芸能～能の世界～	佐久間 二郎	50
8月5日	レザークラフトでブレスレットを作ってみよう	近藤 和郎	33
7月17日	夏休み自由研究プロジェクト		256
合計			388

(8) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月日	学校名	情報	参加人数
8月2日	中央高校		1
8月3日	甲府城西高校		3
8月6日	甲府西高校		6
合計			10

(9) 学芸員実習

月日	学校名	情報	参加人数
合計			0

(10) 文学解説(展示解説、視察対応)

月日	対象名・講座名等	対象者	参加人数
4月8日	都留文科大学国文科オリエンテーション	都留文科大学学生	161
5月25日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小3, 4年生	53
7月6日	栃木県下都賀郡教育事務所視察	教育委員・指導主事等	40
7月14日	新田小学校総合的な学習の時間	新田小5, 6年生	56
7月28日	英和中高文芸部	英和中高文芸部	14
8月4日	中巨摩地区国語科研究会	中巨摩地区小中国語科教員	33
8月17日	吉田地区国語研究会	吉田地区小中国語科教員	6
8月18日	甲府地区教育協議会図書館教育部会	甲府地区小中学校図書館司書等	75
8月18日	富竹中学校区3校研究会	富竹地区小中教員	60
8月22日	甲府市小中学校図書館司書部会	甲府市内小中図書館司書等	42
8月23日	楯形中学校美術・文芸部	楯形中学校美術・文芸部	23
合計			563

(11) 山梨の文学解説講座(他会場への講師派遣事業)

月日	講座名	対象者	参加人数
5月29日	山梨県文化協会連合会研修会講座	文化協会等	80
6月18日	ことぶき勤学院 南都留教室	ことぶき勤学院	12
8月26日	山梨大学国語国文学会	山梨大学国語国文学会会員	35
合計			127

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して、山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助とするために制定された。小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一吏・長野まゆみ
研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

29年11月30日 作品締め切り予定

過去5年間教育普及事業 実施状況

一般対象		H24	H25	H26	H27	H28
企画展・特設展関連 講演会・講座	回数	6	7	7	13	7
	人数	1,015	1,431	1,963	1,837	1,632
	平均人数	170	205	281	142	233
企画展・特設展 ギャラリートーク	回数	40	34	6	3	2
	人数	500	513	170	107	76
	平均人数	13	16	29	36	38
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	16	16	16	16	16
	人数	1,872	2,039	1,696	1,302	2,258
	平均人数	117	128	106	82	141
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	5	2	3	2	3
	人数	235	89	97	67	139
	平均人数	47	45	33	34	46
朗読講演会	回数	1	1	1	1	1
	人数	220	380	189	239	247
	平均人数	220	380	189	239	247
映画鑑賞会	回数	4	5	6	4	5
	人数	1,390	1,010	1,704	1,245	1,022
	平均人数	348	202	284	312	204
読書会	回数	11	9	11	11	10
	人数	149	96	106	99	72
	平均人数	14	11	10	9	7
一般団体 展示解説 文学解説	回数	39	12	48	11	10
	人数	667	393	1,353	405	452
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	29	7	17	4	5
	人数	1,600	285	1,286	395	153

小中高生対象		H24	H25	H26	H27	H28
子ども映画鑑賞会	回数	4	2	2	2	2
	人数	500	615	413	201	265
	平均人数	125	308	207	101	132
ワークショップ等	回数	3	11	8	8	5
	人数	163	1,335	880	806	619
	平均人数	55	122	110	101	124
小・中・高等学校・大学 展示観覧・解説	回数	105	74	54	66	54
	人数	3,464	1,141	2,723	3,137	2,120
小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	14	9	4	8	7
	人数	517	2,039	646	376	735

小中高生・一般対象		H24	H25	H26	H27	H28
創作プログラム (俳句短歌等教室・講演等)	回数	2	3	5	5	7
	人数	117	192	208	541	404
	平均人数	59	64	42	109	58
企画展・特設展チャレンジクイズ 文学の柱等	人数	3,770	2,720	3,344	6,520	4,369

学校対象		H24	H25	H26	H27	H28
移動文学館 (パネル貸し出し)	回数	37	37	28	32	34
	人数	17,416	7,098	9,993	6,484	11,285
	平均人数	471	192	357	203	332

平成28年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
やまなしの文芸同人誌 ―私の表現世界― 県内ではいくつもの文芸同人誌が発行され、それぞれに文学作品などが発表されている。当館に所蔵している同人誌を展示し、日頃目にすることが少ない作品を多くの人に紹介する。	平成28年4月29日(金) ～ 6月19日(日)
宮沢賢治 童話の世界 特設展「宮沢賢治―保阪嘉内への手紙―」にあわせ、夏休み子どもたちにも親しめるように創作した童話を中心に、アニメや賢治の生涯のDVD、朗読CDなども紹介する。	平成28年7月9日(土) ～ 8月28日(日)
マンボウ先生の作品たち ―北杜夫の世界― 企画展「北杜夫展」にあわせ、北杜夫の小説、エッセイや関連作品などを展示紹介する。	平成28年9月16日(金) ～ 11月23日(水)
芥川賞・直木賞の小説を味わう 数ある文学賞の中でも、なにかと注目され話題の多い芥川賞と直木賞。歴代の受賞小説を展示紹介する。	平成29年2月10日(金) ～ 4月9日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
木々高太郎(5月6日生まれ)	平成28年4月22日(金)～5月12日(木)
新田次郎(6月6日生まれ)	平成28年5月27日(金)～6月9日(木)
村岡花子(6月21日生まれ)	平成28年6月17日(金)～7月6日(水)
辻 邦生(9月24日生まれ)	平成28年9月9日(金)～9月28日(水)
石原八束(11月20日生まれ)	平成28年11月16日(水)～12月8日(木)
檀 一雄(2月3日生まれ)	平成29年1月27日(金)～2月8日(水)
李 良枝(3月15日生まれ)	平成29年3月10日(金)～3月23日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成28年 6月11日(土) 参加者：25名

第2回 同 11月20日(日) 県民の日 参加者：51名
午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

平成29年度 資料情報課事業計画

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
山本周五郎を読む 特設展「歿後50年 山本周五郎展」に合わせて、「樞の木は残った」「山彦乙女」などの著作や研究書を紹介する。	平成29年4月29日(土) ～ 6月18日(日)
山梨に生まれた作家たち 林真理子、辻村深月、神永学など、山梨で生まれ育ち、現在精力的に執筆活動を行っている作家を取り上げる。映画化・ドラマ化などで話題となった小説や文学賞受賞作などを紹介する。	平成29年7月15日(土) ～ 8月27日(日)
津島佑子の世界 企画展「津島佑子展(仮称)」に合わせて、母方の系譜を追った長編小説「火の山ー山猿記」などの著作や父・太宰治の関連資料を紹介する。	平成29年9月22日(金) ～ 11月23日(木)
近代文学の挿絵画家たち 創意を凝らした本の装幀や挿絵は、文章とともに本を読む楽しみのひとつである。近代文学の装幀と挿絵に注目して、橋口五葉、小穴隆一などを取り上げて紹介する。	平成30年2月10日(土) ～ 4月9日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
土橋治重(4月25日生まれ)	平成29年4月14日(金)～4月27日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成29年6月9日(金)～6月22日(木)
飯田龍太(7月10日生まれ)	平成29年6月30日(金)～7月13日(木)
田中冬二(10月13日生まれ)	平成29年10月6日(金)～10月19日(水)
深沢七郎(1月29日生まれ)	平成30年1月24日(水)～2月8日(木)
李 良枝(3月15日生まれ)	平成30年3月9日(金)～3月25日(日)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成29年 6月10日(土) 参加者：39名

第2回 同 11月20日(月) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

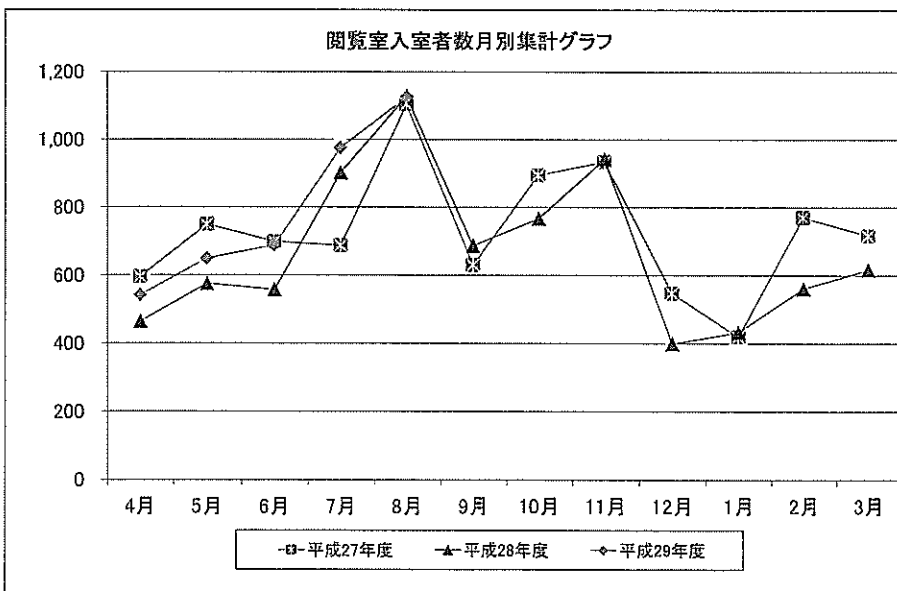
【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H29.8.31現在)										
	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
平成27年度	310	8,754	116	450	2,107	406	5,132	0	2,012	660
平成28年度	306	8,034	95	425	1,692	342	2,944	0	1,881	919
平成29年度	134	3,983	64	200	1,153	352	1,955	0	771	288

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H29.8.31現在)															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数	
平成27年度	596	750	699	688	1,104	631	895	935	548	420	771	717	8,754	28	
平成28年度	464	576	558	902	1,128	687	767	942	399	433	561	617	8,034	26	
平成29年度	542	650	689	976	1,126								3,983	30	



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H29.8.31現在)																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数		
平成27年度	31	51	27	34	26	38	35	53	33	13	28	37	406	1		
平成28年度	25	42	23	39	34	26	20	20	26	18	27	42	342	1		
平成29年度	40	63	119	54	76								352	3		

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H29.8.31現在)																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数		
平成27年度	168	645	854	1,096	118	600	394	151	675	147	177	107	5,132	16		
平成28年度	28	594	258	452	137	301	228	244	243	78	39	342	2,944	10		
平成29年度	224	222	400	364	745								1,955	15		

平成29年度 上半期文学館協議会

山梨県立文学館指定管理者
株式会社SPSやまなし

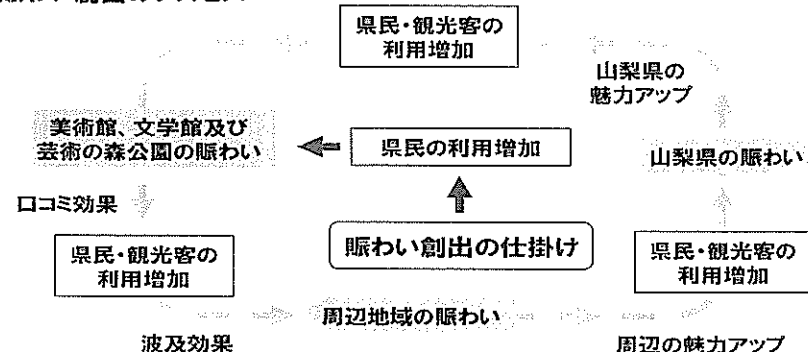
目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
 - ・ 観覧誘致のための広報活動
 - ・ 関係各所との連携
 - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
 - ・ 研修及び館内避難訓練
4. 基盤整備
5. 下半期に予定している活動

美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設

賑わい創出のプロセス



指定管理者活動トピックス

【2-1】 展覧会観覧誘致のための広報活動

特設展「歿後50年 山本周五郎展」
2017年4月29日(土・祝)～6月18日(日)

GW期間の観光客もターゲットとし、首都圏・長野・山梨向けの朝日新聞に広告を実施。また、県内広報として山梨交通バス内への広告、市立図書館、県立図書館において、「山本周五郎コーナー」の設置を依頼、ご協力いただいた。

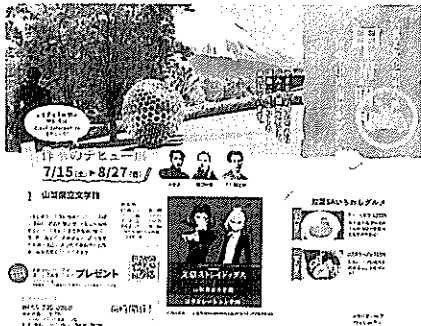


<観覧者実績> 3,920名 (予比87%)

指定管理者活動トピックス
【2-2】 展覧会観覧誘致のための広報活動

特設展「作家のデビュー展」
2017年7月15日(土)～8月27日(日)

教育普及課と連携し「文庫ストレイドッグス」とのコラボ企画であることをツイッターで拡散、また、観光施設に設置されるフリーペーパー等にも広告を掲載し、県外集客に努めた。総務課、学芸課とリスクヘッジ対応を適宜実施。混乱なく展覧会を終了することができた。



＜観覧者実績＞8,322名（予比151%）

指定管理者活動トピックス
【2-4】 広報イベントの開催

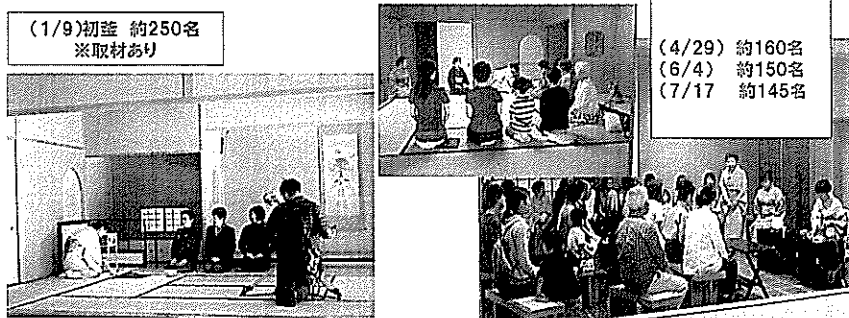
芸術の森茶会“初釜”(1/9)
芸術の森茶会（4/29、6/4、7/17）

茶道連合会の各流派等に協力いただき開催している「芸術の森公園茶会」。毎回定員を超える多くのお客様にご参加いただいている。本格的な茶室設備を備えた施設のアピールとともに、お手前体験等、茶道文化にも触れるきっかけとしている。

1月(初釜)・6月・裏千家流 4月・有楽流 7月・表千家流

(1/9)初釜 約250名
 ※取材あり

(4/29) 約160名
 (6/4) 約150名
 (7/17) 約145名



指定管理者活動トピックス
【2-3】 関係各所との連携

旅行会社へ団体旅行誘致のための営業活動

美術館・文学館への旅行会社への営業活動を実施。大手旅行社の企画担当者へ当館の企画組み込みを依頼した。都内からのツアー客の呼び込みを狙う。

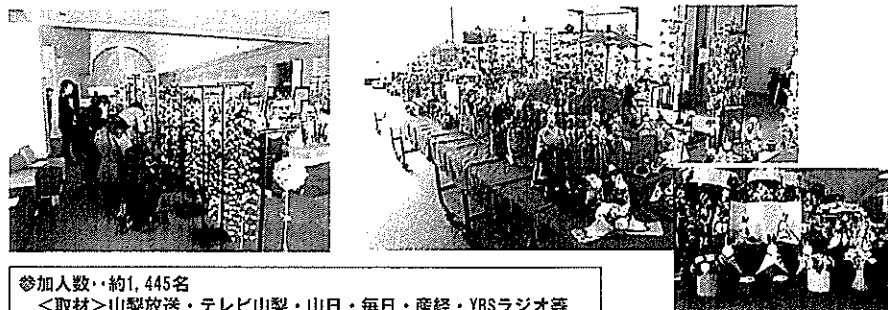
3月訪問先・・・3社 JTB・はとバス・三越伊勢丹旅行
 8月訪問先・・・4社 JR東日本・阪神交通社
 ・近畿日本ツーリスト・日本旅行



指定管理者活動トピックス
【2-5】 広報イベントの開催

吊るし雛(つるしびな)展示
2017年7月15日(土)～8月27日(日)

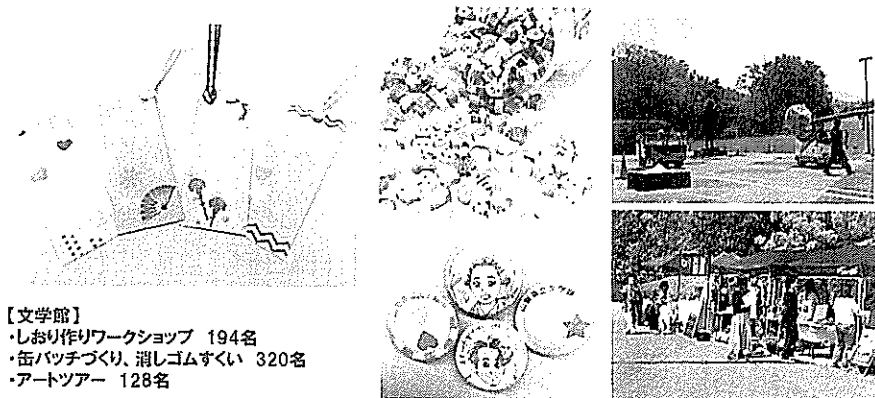
文学館の2Fロビーにて「吊るし雛」を展示した。3月3日のひな祭りには貢川進徳幼稚園の園児約20名を招待し、報道にも取り上げられた。風情ある季節の展示に対する取材効果もあり、約1,445名と多くの方に文学館へ足を運んでいただいた。



参加人数・約1,445名
 <取材>山梨放送・テレビ山梨・山日・毎日・産経・YBSラジオ等

指定管理者活動トピックス 【2-6】広報イベントの開催

4月29日(土・祝)～5月7日(日)の大型連休中に美術館・文学館・芸術の森公園でイベントを開催。来館が少ないファミリー層や若年層をターゲットとし、施設の魅力発信とともに観覧者増を狙った。内容は好評だったが、目標参加人数に達しなかったイベントもあり、県内各所の同時期イベント(競合)対策など、次年度に生かしていく。(公園イベント参加人数 約1,600名)



【文学館】
・しおり作りワークショップ 194名
・缶バッジづくり、消しゴムすくい 320名
・アートツアー 128名

指定管理者活動トピックス 【3-1】ホスピタリティデザインの構築

外部研修参加(2/16、3/10)
スタッフ全体研修実施(3/21、4/24)

広報業務の拡充やサービススキル向上のため、『マーケティング』と『ユニバーサルデザイン』に関する外部研修をスタッフ3名が受講した。
その後、スタッフ全員参加での研修(3/21・4/24)を実施した際、その研修のフィードバックをするなど、サービス向上をはかっている。さらに、緊急時に常に安全・安心な対応がとれるよう、避難訓練も繰り返し実施した。



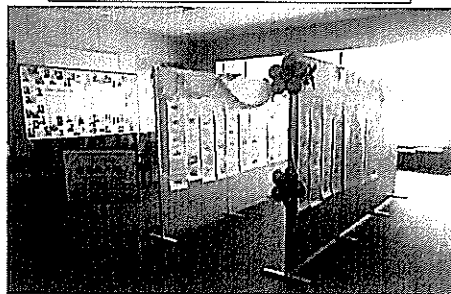
指定管理者活動トピックス 【2-7】広報イベントの開催

山梨県内の認知度向上を目指し、館外での広報活動を実施。昨年に続き「イオンモール甲府昭和店」で出張ワークショップを行い、告知チラシ等を配布、普段文学館に来館のないお客様へ直接発信を行った。また回収したぬりえ296点を文学館2階ロビーにて展示。夏祭りや展覧会への来場につながるよう努めた。

(7/29・30) イオンモール甲府昭和店
2日間計 約1,200名

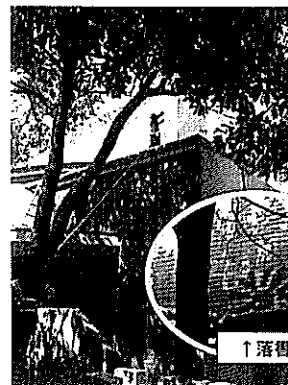


(8/5～8/27) 文学館2階ロビー
※イベント時配布券利用者10名(大人)



指定管理者活動トピックス 【4-1】基盤整備

■芸術の森公園の屋外ステージ屋根付近に落書きがされたため、高圧洗浄機、薬品等を使用しクリーニングした。
■また、昨年11月に土壌整備と30株を捕植したポタン園のポタンが開花した。引き続きバラ園含めて散水など維持管理し、県民の方が楽しめるよう管理をしていく。



↑落書き



↑ポタン園(30株開花)
バラ園(900本開花)→

指定管理者活動トピックス

【5】下半期に予定している活動

インバウンド対応
外国人向け茶会

Musee Marche
(ミュゼ マルシェ)

芸術の森公園
アートツアー

ヴァンフォーレ甲府
合同イベント

県民の日の
イベント

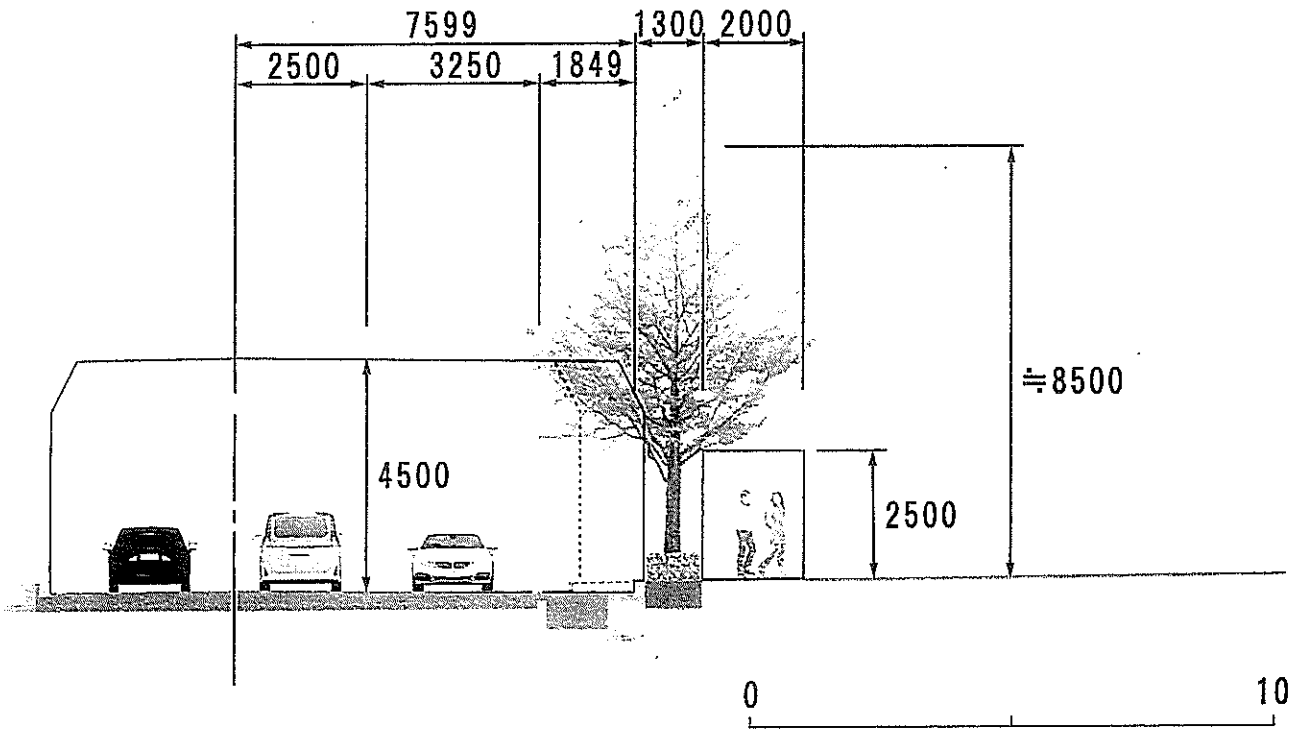
キャッチコピーを用い
た広報活動

展覧会と関連付けた活動、賑わいの創出に繋がる
活動を実施していく

8

国道52号貢川地区 歩道部イチョウ剪定資料

CASE①:現 況(剪定なし)



国道52号貢川地区 歩道部イチョウ剪定資料

CASE④-1:車道側H=4.5m剪定 歩道側H=4.5m剪定 剪定直後

